



“笑いとおしゃべりいっぱい市”を11月5日(日)開催

大上地区社協が毎年開催している“笑いとおしゃべりいっぱい市”は今年で7回目を迎えています。11月5日(日)に開催し、地域の450人の皆さんが集まって楽しみました。

当日は穏やかな秋晴れの中「深谷大上ふれあいの家」と隣接する「柳川広場」を会場とし、入口脇では今回も手作りの手芸品などの“フリーマーケット”があり、いつも人だかりで好評でした。隣の安産子育て地蔵尊前に用意した“こどもコーナー”に立ち寄ったこどもたちは、折鶴のプールやくじを引いたりして喜んでいました。

会場では生ビール、赤飯、フランクフルト、豚汁、厚ハム、焼き芋、さつま揚げ、等も格安で販売され、皆さん買い求めて仲間と飲食しながら談笑していました。また、古塩市長、増田市社協会長もかけつけ、地元の綱嶋県会議員、内山市会議員と共にイベントを盛り上げて下さいました。挨拶された皆さんからは、「大上の地域力、集客力」「地域とのつながりの強さ」を称賛していました。北の台小学校の田中校長は、新任の神尾教頭と一緒に舞

台に上がり地域と児童をつないでいる地区社協に謝辞を語っていました。

特設ステージでは、第一むつみ会の「人生の思い出のきもの」の発表で、卒業からの人生を着物を通して表現する舞台から始まり、3B体操、詩吟、ハワイアンとフラダンス、大上太鼓、君佳会の舞踊と熱演が続き、

最後の7区の山口三枝子さん指導の健康体操では大上地区社協メンバーと一緒に綾北小学校の西島校長もステージに上がり、会場皆さんも一緒に体を動かし閉会となりました。

色々なつながりを深めた今年の笑いとおしゃべりいっぱい市でした。



盛り上がる会場の様子



人生の思い出の着物



君佳会の舞踊



華麗なハワイアンとフラダンス



元気に3B体操



詩吟を披露する“幸岳、の皆さん



人気の手作り品販売コーナー



こどもコーナー



迫力の大上太鼓



最後の地区社協会員による健康体操では、会場の皆さんも一緒に体を動かす

